



8月しゃろーむだより



認定こども園 二本松学園

しゃろーむ保育園

2024年7月31日

今月の聖句

「人にしてもらいたいと思う事は何でも、あなたがたも人にしなさい。」

マタイによる福音書7：12

年々夏の平均気温は高くなり蒸し暑い日が続きますが梅雨明け間近、夏本番です。

保育園は7月天候のよい日にカートや徒歩でお散歩に出かけたり、園庭でしゃぼん玉を追いかけて大はしゃぎ。クラスごと冷たい氷に触れながらのごっこあそび、軟らかなスライムの感触を楽しみました。つくし組保育参観ではお母さんに見守られマイペースでご機嫌に活動。8月、暑い夏に向かって色水あそびやプールあそびなど水の感触を楽しみながら冷たさや心地よさを体感してほしいと願っています。また親子参加の「夏祭り」も予定しており、和やかなひとときを過ごせるよう心待ちにしています。

コロナウイルスや手足口病の感染拡大が報道されています。乳幼児は体温調節機能が十分に発達しておらず真夏日や猛暑による熱中症、様々な感染症の予防に努めていきましょう。

園 長

— 8月の予定 —

8月	行 事	8月	行 事
1 木		16 金	
2 金		17 土	
3 土		18 日	
4 日		19 月	礼拝・英語教室
5 月	礼拝・英語教室	20 火	
6 火		21 水	英語教室
7 水	英語教室	22 木	
8 木	避難訓練	23 金	
9 金		24 土	夏祭り
10 土		25 日	
11 日	山の日	26 月	礼拝・英語教室
12 月	振替休日	27 火	誕生会
13 火		28 水	英語教室
14 水		29 木	
15 木		30 金	
		31 土	



8月生まれのおともだち

4日 ねもと あさひ さん
10日 さいとう いつき さん
15日 あらかわ ひなぎ さん

—連絡事項—

【8月24日（土） 夏祭りについて】

- ・日程は先日お知らせした通りです。時間等お間違えの無いようによろしくお願いします。
- ・それぞれのグループの時間内であれば登園、降園の時間は自由ですので、自由に楽しんでください。（それぞれの開始時間前に来ても中には入れません）
- ・内容はゲームやお親子制作、お店屋さん、写真撮影等で、およそ40分程度で回れる内容です。おみやげもありますよ。（荷物を入れる袋があるといいかもしれません）
- ・果物屋さんで少々果物を食べますがおやつ提供はありませんので登園前に少し補食をして来てください。水分も必要に応じて各自ご用意ください
- ・保護者は各家庭お一人で、兄弟の参加はご遠慮ください。
- ・幼稚園に兄弟がおられる方でその時間預かり希望の方は、保育園のクラス担任に8月9日までに知らせてください。
- ・服装は自由です。（浴衣大歓迎）保護者の方は靴下を着用してください。
- ・当日欠席連絡は9:00以降をお願いします。
- ・駐車場は亀谷屯所上の福祉センター駐車場をご利用ください。保育園の向かい側は止められません。

【お願い】

- ・暑さが続き子どもたちも体力が落ちているようです。午前中からゴロゴロしたり、給食前に眠くになってしまう姿も見られています。この時期だからこそ朝食をしっかり食べさせて登園して下さい。また夜寝苦しく熟睡できない日もあると思いますが、できるだけ睡眠のリズムを崩さないように頑張りましょう。
- ・お盆前後お休みになるお子さんもおられますが、保育園は、日祝日以外は職員が出勤しています。
有事の際の連絡は8時～17時 保育園携帯080-3196-1489
または 保育園直通 24-7757 にしてください。
休日や時間外の場合は 080-1697-6834（園長携帯） をお願いします。
- ・先月避難訓練で緊急メールと引き渡し訓練を行いました。お忙しい中ご協力いただきありがとうございました。お仕事の状況によってはなかなかメールの確認も難しいと思いますが、これを機に緊急メールが入っていないかを確認することを意識していただけたらと有難いです。また、今日だけ都合で緊急連絡先が変わる場合は、連絡ノートに記入するか、登園時に伝えて頂くようお願いいたします。
- ・毎日持参していただいているおしぼりや給食のエプロンですが、黄ばみやカビが出やすい時期ですので確認していただき、必要に応じて定期的に交換をお願いします。また、毎日洗濯をすると名前が読み取れなくなってしまう、同じおしぼりの子がいると非常に混乱しますので、おしぼり、エプロン、袋の記名の確認をして下さい。
- ・ちゅうりっぷ組さんは、“汗をかいたら拭く”ことを意識させていきたいと思いますので、汗拭きタオルを（名前を書いて）持ってきてください。使用した日に持ち帰りますので、翌日また清潔な物を持ってくるようお願いいたします。

【つくし組より】

梅雨の時期に入り、なかなか外遊びができない日もありましたが子どもたちは毎日元気に過ごすことができました。動きもより一層活発になりスムーズに歩けるようになって歩くことを楽しむ姿やお座りをしながら方向転換をしたり腹這いで進んだりする姿や四つん這いになろうとする姿など、ますます目が離せなくなり日々の成長を感じます！月齢が1番小さいお友だちも7月からみんなとおやつを食べるようになりました。みんなと食べられることに喜びを感じながら嬉しそうに食べていたり、お友達と顔を見合わせて微笑んでいたり楽しいおやつの時間を過ごしています！

給食では、スプーンやフォークに使い食べ物を乗せてあげると上手に口に運べるようになってきました。「自分で持ちたい！」や「自分で食べたい！」とやる気に満ち溢れていて、保育者と一緒にスプーンを持ってすくったり、自分でフォークで刺そうとしたりする姿も見られるようになりました！お味噌汁はみんなが大好きで、両手マグを持ち、顔に円形の跡がついてしまうほどの勢いで飲んでいきます。食べやすいメニューの時などあまり噛まずに飲み込んでしまう様子が見られますが「もぐもぐ」「かみかみ」など保育者が声を出して伝えています。また月齢に合わせた形状で手づかみ食べも行い、様々な食材に触れ、感触や味を楽しむことで苦手な野菜を少しずつ自ら食べるようになりました。

これからより暑い日が続くので氷遊びや水遊びなどを多く取り入れながら楽しく過ごしていきたいと思います。伊藤はな

【たんぼ組より】

いつも元気なたんぼ組の子ども達も蒸し暑い日々の中で、体調を崩していたりご機嫌が斜めだったり少しお疲れの様子が見られました。しかし、食べることが大好きな子ども達！食事の前のお片付けの際、「次はお給食だよ」という保育者の声かけに気づき、まだ遊びたい！と訴えていた子ども達も「きゅうしょく？」と反応し、気持ちを切り替えて片付けを頑張っています。まだ時々手を使って食べる姿も見られますが、スプーンやフォークを使ってすくって食べるのが以前よりも上手になり、こぼしてしまうことが少しずつ減ってきています。また、少しずつ苦手な食材や食感、味など好みも出てきて、苦戦する姿が見られようになってきました。保育者に励まされたり、友達が食べている様子を見て少し、口へ運び頑張る姿も...！子ども達の頑張りを認め、励ましながら引き続き援助していきます。そして、たくさん食べて夏の暑さに負けない体づくりをしていきたいと思います！お家での様子もお聞きしながら協力して進めていきたいと思いますのでよろしくお願い致します。

身体をたくさん動かして遊ぶことが好きなたんぼ組さんですが手先を使って、落ち着いた遊びも得意！ひも通しでは、玩具の紐を通す部分になかなか通すことができず...保育者と一緒にやってみたり、何度か挑戦して諦めてしまったりする姿が見られていましたが、繰り返し挑戦することでコツを覚えていきました！まだまだ苦戦中の子、2個、3個とできるようになった子など個々によって様々ですが自分でやってみるぞ！というやる気に満ち溢れている子ども達の姿を見て成長を感じました。繰り返し挑戦していくことで自分でもできた！という自信に繋げて行けるよう子ども達の様子を見守りながら一緒にやってみたり、出来た喜びを共有しながら日々を過ごしています。暑い日が続いているので、休息をとりながら体調管理に気をつけて行きたいと思います。荒川史織 菊地裕美

【ちゅうりっぷ組より】

7月は片栗粉遊び、氷遊び、はさみ、のり遊びと色々なことに挑戦したちゅうりっぷ組さん！何をやるにも準備の時から「今日は何やるの！？」と目を輝かせて、保育者との約束の確認や遊び方等も真剣に聞いたり、自分なりに約束を考えて答えたりと意欲にあふれていました。初めてののり遊びではよく子ども達が口ずさんでいる「Mommy finger〜♪（指さん家族の英語 ver）」を歌いながらお母さん指（人差し指）を使ってのり付けすることを確認したり、のりの感触や紙同士がくっつく楽しさを味わったりすることができました。はさみ遊びでは保育者と1対1で「ちょき、ちょき！」とはさみの動きを確認するとはさみを持ってない方の手や口まで一緒に動いてしまったりするほど、真剣に取り組んでいました。8月の壁面製作の魚の鱗となる画用紙の1回切りでは最初は少し苦戦しつつもコツをつかんで「ちょきん！！」と上手に切れた時の「できたあ〜♡」という嬉しそうな子ども達の姿が印象的でした。これからも子ども達の意欲や達成感を大切にしながら活動内容を計画したり、引き続き約束を確認しながらのり、はさみの使い方を身に付けていきたいです。

8月は水遊びや夏祭り等、さらに夏ならではの活動や行事を予定しています。感染症、熱中症等に気を付けながら、子ども達と楽しんでいきたいと思います！！七宮美希 佐藤千圭子



・ゆつたりと・

例年、夏の暑さが厳しくなっています。しかし子どもたちには夏でしか味わえない水、虫、花、などの自然から五感で感じてほしいと思います。

夏の自然を感じる

今、我が園では広い園庭が園舎建て替えてなくなっています。いつもならすぐ外に出て虫や花、土を見たり、触ったりして遊ぶことができるのにそれができないことが、かなり子どものストレスにつながるのだと痛感しています。公園に行くと思いに草や虫を探したり、石を拾ったりして目を輝かせています。そんな姿からも乳幼児の子どもにと

って自然の土、水、草、花は大切な保育材料だと感じています。そして夏といえば、水遊び、どろんこ遊びを楽しむ時期ですね。水遊びは手や足、目や耳など身体全体で、水と触れ合うため様々な感覚が磨かれます。また水は意図しない様々な動きをします。静かな水が、少し手を入れると波立ったり、手で掬っても掬えなかつたりします。水に触れることで、子どもたちは水の動きを感覚的に掴んでいきます。夏の日差しを受けキラキラする水面を見て「きれい」「まぶしい」と感じることでしょ。1、2歳児は水の中で立つことによって浮力が働くのでバランス感覚もつきます。また水の中で過ごすことはかなりの力やエネルギーを消費することになり、体力も衰えます。またどろんこ遊びは、土の感触、匂いに感性が刺激されて気持ちいい、ざらざらしている、やわらかい、身体につく、乾いていくなど手足の皮膚から様々な感触を味わい、繰り返し触る楽しさを味わえ

ます。1、2歳児は触り、握り、そして丸めるなどいろいろな指先を動かして脳の発達を促します。2歳になれば、その感覚をことばで表現することもできていくに違いありません。しかし少しの水でも、溺れたり転倒したりするリスクもあります。全身を使うがゆえに疲れやすくなったり、熱中症の危険もあることは忘れてはいけません。水に関しては少しの油断が大きな事故につながりますので、園でしつかりマニュアルを作り、全体で共有していくことが必須です。また夏風邪や皮膚感染などの感染症をよく理解し、地域で流行している病気を把握しながら日々過ごしていきましょう。

ゆつたりと

「ゆつたり」という言葉の意味は「時間、空間、行動、気分などに十分ゆとりのあるさま」とあります。保育園の子どもたちは保育標準時間が11時間となっているので、かなりの時間を園という空間で過ごしていることとなります。いつも

数人の乳児がいて、行動もそれぞれ少しは制限せざるを得ない園生活。保育者もついつい時間に追われて、気分もそわそわしてしまうことが多い毎日です。夏の暑さで子どもも、ちょっとゆつくりと身体を休ませて寝転んでいたいときもあるでしょう。そんなコーナー（空間）を作ったり、それぞれの子どもの遊び込めるコーナーを作ったり、夢中になる遊びを提供できているかなど見直してみたいと思います。また保護者の方もこの時期は比較的休みを取りやすい時期ですので、園では、できるだけ保護者の方と一緒にいる時間を作っていただいています。そのように少し登園児が少ないと部屋の空間もゆとりができますし、保育者も気分的にもちよつとゆつたりでき、環境の見直しもできます。

2歳Y児はいつも朝7時登園、帰りも最後まで園にいる園児でした。ある夏の日、田舎の祖父母の所へいくとのことで屋過ぎに迎えに來られました。いつも一

番遅くまで残っていたY児は大喜びです。その日から1週間ほど休みました。次登園してきたY児は、朝は保護者と離れるのが少し寂しそうでしたが、田舎での話をたくさんしてくれました。いつもは遠くにおられて会えない祖父母にたくさん遊んでもらい、お話もいっぱいしてもらいそしてお父さん、お母さんともずっと一緒に過ごすことができたY児。あまりお話をすることがなかったY児でしたが、その後言葉数が増えていきました。また遊びも経験したことを思い出したように、「大きなお風呂」と部屋の隅をお風呂に見立てて、身体を洗ったり、友だちの背中をこすったりする遊びを繰り返し楽しんでいました。経験したことが、遊びの中に取り入れられ、ごっこ遊びが展開していく子どもの成長を感じました。保護者は「ただ、田舎に行つてゆつくり過ごしたただけでしたが、おじいさんとお風呂に入つて背中を洗ったことなど印象に残っていたのでしょ」と話してください

ました。そして、「どこかテーマパークなどいなくても、ゆつくり自然の中で遊んでおじいちゃんたちと会うだけで子どもも嬉しいのですね」と話されていました。いろいろな人々にあつて、ゆつたりと過ごすことで、Y児も心が満たされたことでしょう。そしてその時間や空間が心や身体の成長に欠かせないものだと感じました。

保育者もこの時期にいろいろと感性を磨く体験をしてゆつたり過ごすことで次の保育の活力になると思っています。そして保育者も神さまや周りの同僚に愛され導いていただいていることに感謝をもつて過ごしてほしいと思います。うまくいかないことや、悩み事がある保育者もおられるかもしれませんが、そんな時こそ、聖書を読むこと、そして祈ることです。不思議なことですが、それぞれの想いにあつた聖書の言葉が与えられます。それぞれの園において共に心ひとつにして祈りをささげてまいりましょう。